
 葉の観察～きゅうりとなす～ 

# 6月 子ども達の声で夏野菜を育て始めました



↑ なす



↑ きゅうり



子ども達が決めたきゅうりとなす！

毎日水やりをして  
お世話を頑張っていました



お花が咲いたり実が出来てきたら  
子ども達が「絵をかきたい!」と  
出来たきゅうりの絵も描いてみました

# 7月～8月 きゅうりは順調に育って実がなりました！が、、

当番の子どもを中心に水やりを毎日行い、実が出来るのを楽しみにしていた子ども達。でも、なすの実がなかなかできませんでした。咲いていた花も、葉っぱも枯れてしまいました。そんな時、園の工事に伴い違うところに苗を移動することに。違うところに苗を移動させてもあきらめずにお世話していた子どもたち。毎日お世話していると、新しい葉っぱと花が咲いていました！「みて！葉っぱが復活してる！」「お花も！」と嬉しそうに教えてくれました。



## 新しく育った葉っぱの観察をしました

毎日のお世話の中で「きゅうりとなすの葉っぱって形がちがうね」と話をする子ども達。「光のテーブルで見してみる？」と保育士が問いかけると「うん！」と元気に答えてくれました。光のテーブルを用意し、みんなでじっくりと観察していると「このほそいせん、なに？」と何かに気づいた子ども達。子どもたちが部屋の図鑑を出してきて図鑑で調べてみると、「葉脈」だということがわかりました。葉脈の働きについても図鑑で調べて、「水や栄養の通り道」だということも知った様子。自然と「このせんはだいじなんだね」という言葉が子どもたちの中で出てきました。観察したり、調べたりする子どもたちの目はとてもキラキラしていました！



観察した葉の絵



# まとめ

9月になってもたくさん実が出来ました。大きくなったなすを見つけるたびに目を輝かせて「せんせいみて！おおきくなってよ！」と教えてくれました。保育者が手伝いながらなすの収穫をして自分の手で調理室の先生に届けると「今日の給食にでてくるかな〜？」と楽しみにしている子どもたちでした。給食で、収穫したなすやきゅうりが出てくると「あ！これきゅうりだ！なすだ！」「きゅうりおいしくできたね」と給食の時間はとても盛り上がってたくさんおかわりをしていました。自分の手で育てた野菜は格別においしいんだろうなと思い保育士もうれしくなった瞬間でした。

そして、野菜だけでなく葉っぱにも興味を持ち始めた子どもたち。園庭の葉っぱをみて「これはなすの葉っぱとに似てるね」「こっちは線がたくさんあるよ」と子どもたちの中で戸外遊びの時間も自然と観察の時間になりました。「図鑑に載ってるかな？」と保育士がいうと葉っぱを取ってきて部屋で図鑑に載っている葉っぱと見比べて「なすの葉っぱよりもかたいね」「ほそながいね」と観察を楽しんでいました。

葉の観察を通して、子どもたちの視野が広がって様々なことに興味を持てるようになりしました。また、子どもたちの気づく力や探求心の広さを感じることが出来ました。子どもたちの広い視野で見つけたこと、興味を持ったことをこれからも大切にしてみっと育てていけるような関わりをしていきたいと改めて感じました。

